



2019 7/6_{|土|} ▶ 8/31_{|土|}
17:00開演 (16:30開場) 各回解説付き

世界無形遺産 能楽

観能の夕べ



K a g a
H o s h o
N o h
T h e a t e r

7/6_{|土|} ◆狂言 雁 礫 炭 哲男
◆能 胡 蝶 松本 博

7/13_{|土|} ◆狂言 狐 塚 清水宗治
◆能 蟬 丸 島村明宏

7/20_{|土|} ◆狂言 舟ふな 能村祐丞
◆能 経 政 福岡聡子

特別公演 ◆仕舞 笠之段 大坪喜美雄

7/27_{|土|} ◆狂言 佐渡狐 能村祐丞
◆能 殺生石 宝生和英
自頭

8/3_{|土|} ◆狂言 昆布売 若生敏郎
◆能 井 筒 高橋右任

8/10_{|土|} ◆狂言 鬼 瓦 山田譲二
◆能 養 老 広島克榮

8/17_{|土|} ◆狂言 二人大名 炭 哲男
◆能 是 界 高橋憲正

8/24_{|土|} ◆狂言 宗 八 中尾史生
◆能 野 守 松田若子

8/31_{|土|} ◆狂言 膏薬煉 炭 哲男
◆能 須磨源氏 渡邊茂人



能楽体験

「観能の夕べ」をよりお楽しみいただくため、開演前に演目に関する体験を実施します。演目により体験内容も異なりますので、詳しくは能楽堂までお問い合わせください。

- 時間: 各回 15:30~(40分程度) ※15:00~受付開始
- 場所: 石川県立能楽堂
- 定員: 20名程度/回 (要事前申込・先着順)
- 料金: 無料 (当日の鑑賞者に限ります)
- お申し込み・お問い合わせ: 県立能楽堂 TEL.076-264-2598

金沢能楽美術館関連行事

◆「観能の夕べ プレ講座」

金沢能楽界の人気能楽師が、見所を分かりやすく紹介します。 **参加無料** (要観覧料、要申込)
※詳しくは観能の夕べのホームページをご覧ください。

◆特別展「狂言面・狂言装束の粋と山科理絵が描く狂言画」

期間: 4月20日(土)~8月25日(日)
前期: 4月20日(土)~6月23日(日) 「国立能楽堂所蔵の狂言面・狂言装束」
後期: 6月29日(土)~8月25日(日) 「北陸ゆかりの狂言面・狂言装束」
※休館日: 毎週月曜日(但し、祝日の場合は翌平日)、展示替え休館日: 6月25日(火)~28日(金)

(お申し込み) 金沢能楽美術館 金沢市広坂1丁目2番25号 TEL.076-220-2790 10:00~18:00(入館17:30まで) 月曜休館(祝日の場合は翌平日休館)

【会場・お問い合わせ】 石川県立能楽堂 TEL&FAX 076-264-2598

主催/いしかわの伝統文化活性化実行委員会

各公演 1,000円 特別公演 3,000円

※いずれも高校生以下無料 ※満席の場合、ご入場いただけない場合がございます。
※駐車場は数に限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

チケットのお求め

石川県立能楽堂、石川県立音楽堂チケットボックス(076-232-8632)、
金沢能楽美術館(076-220-2790)、香林坊大和プレイガイド
(076-220-1332)、e+ (イープラス) <http://eplus.jp> (パソコン・携帯)



いしかわ子ども文化体験チャレンジスクール
~進め! 出世街道~ 対象事業

H31 文化庁文化芸術振興費補助金
(文化遺産総合活用推進事業)

観能の夕べ

K a g a H o s h o N o h T h e a t e r

特別公演

7/6 解説/杉山 欣也
(金沢大学人間社会研究域教授)

◆狂言 雁 磔 炭 哲男

◆能 胡 蝶 松本 博

胡蝶/旅の僧が都の古跡を訪れる。盛り
の梅を眺めていると、一人の女が現れ、名
所の謂れを語り、自分を胡蝶の精だと明か
し、梅だけは縁がないと嘆きつつ消える。
夜すがらの僧の回向に胡蝶の精は仏果を
得て、梅花とも縁を結ぶことができたこと
を喜び、可憐に舞う。

7/13 解説/山内 麻衣子
(金沢能楽美術館学芸員)

◆狂言 狐 塚 清水宗治

◆能 蟬 丸 島村明宏

蟬丸/帝の第四皇子、盲目の蟬丸は剃髪
のち逢坂山に捨てられる。蟬丸の姉宮逆
髪は、御所をさまよいて逢坂山へたどり
着き、姉弟は邂逅する。互いに手を取りあ
い身の不運を嘆き慰め合うが、やがて姉宮
はいづくともなく去って行く。

7/20 解説/西村 聡
(金沢大学人間社会研究域教授)

◆狂言 舟ふな 能村祐丞

◆能 経 政 福岡聡子

経政/仁和寺の行慶僧都は法親王の命を
受け、平経政を弔うため青山の琵琶を仏前
に手向け、管弦講で回向する。夜更け、弔
いをありがたい経政の霊が現れる。往時
を懐かしみ琵琶を奏で舞を舞うが、討ち死
にの無念が甦り、修羅道の苦に巻き込まれ
ていく。

7/27 解説/村戸 弥生
(金沢美術工芸大学非常勤講師)

◆仕舞 笠之段 大坪喜美雄

◆狂言 佐渡狐 能村祐丞

◆能 殺生石 宝生和英

殺生石(白頭)/那須野の原の巨石のほとり。
玄翁の前に現れた女は石の謂れを語り、自
らを石魂であると明かして消える。その場で
玄翁が仏事していると忽ち石が二つに割
れて本性を現わした悪狐が、自らの悪行と
調伏退治された有様を物語る。

8/3 解説/杉山 欣也
(金沢大学人間社会研究域教授)

◆狂言 昆布売 若生敏郎

◆能 井 筒 高橋右任

井筒/旅僧が在原寺を訪れると女が現れ
る。業平と井筒の女の恋物語を語り、自
らその女の霊だと明かして消える。やが
て業平の形見を纏った女が再び現れて舞
い、井戸に映した業平の面影を偲ぶうち、
夜明けとともに消える。

8/10 解説/佐々木 香織
(石川工業高等専門学校准教授)

◆狂言 鬼 瓦 山田譲二

◆能 養 老 広島克栄

養老/薬の泉が湧き出た話の検分に勅使
が遣わされる。泉の発見者である孝行者
の若者と老父と出会い、泉発見のいきさつ
を知る。感涙にむせぶ勅使の前に山神が
現われ爽快に舞い、御代を寿ぐ。

8/17 解説/村戸 弥生
(金沢美術工芸大学非常勤講師)

◆狂言 二人大名 炭 哲男

◆能 是 界 高橋憲正

是界/唐の仏教界を乗っ取った天狗・是
界坊は、日本の仏教界も堕落させようと愛
宕山の太郎坊を訪ね二人で比叡山を狙い
ます。勅命により京都へ急ぐ高僧を魔道に
引き入れようとするが、僧正の祈りにより、
遂に力を失い、退散します。

8/24 解説/佐々木 香織
(石川工業高等専門学校准教授)

◆狂言 宗 八 中尾史生

◆能 野 守 松田若子

野守/春日の里を訪れた山伏。どこからと
もなく現れた野守の老人は“野守の鏡”の
謂れを語り、塚に消える。祈る山伏の前に
大鏡を持った鬼が現れ、天上から地獄まで
の有様を見せるが、やがて大地を踏み破り
去って行く。

8/31 解説/西村 聡
(金沢大学人間社会研究域教授)

◆狂言 膏薬煉 炭 哲男

◆能 須磨源氏 渡邊茂人

須磨源氏/日向の国の神官・藤原興範一
行は須磨の浦で、源氏物語ゆかりの「若木
の桜」を眺める老樵と行き会う。老人は光
源氏の生涯を語り、光源氏の来臨をほの
めかして消える。やがて兜率天に住まう光
源氏が降臨し青海波の舞を舞ううち、夜明
けとともに消えて行く。

能楽体験



「観能の夕べ」をよりお楽しみいただくため、
開演前に演目に関する体験を実施します。

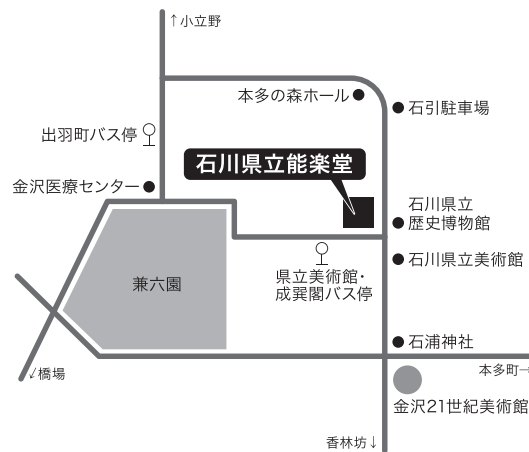
- 内容
- ・能楽師による能楽の解説
- ・公演する演目の謡・仕舞、囃子、狂言の体験

※講師の先生により、体験の内容が変更します。
※白足袋をご持参ください。

開催日	内容	講師
7月 6日(土)	謡・仕舞体験	渡邊 茂人、福岡 聡子
7月13日(土)	狂言体験	荒井 亮吉、山田 譲二
7月20日(土)	囃子体験	住駒 俊介、江野 泉
8月 3日(土)	狂言体験	炭 哲男、中尾 史生
8月10日(土)	囃子体験	麦谷 暁夫、田中 一義
8月17日(土)	謡・仕舞体験	佐野 弘宜、松田 若子
8月24日(土)	謡・仕舞体験	佐野 玄宜、木谷 哲也
8月31日(土)	謡・仕舞体験	高橋 憲正、藪 克徳

- ・時間:各回15:30~(40分程度)
15:00~受付開始
- ・定員:20名程度/回(要事前申込・先着順)
- ・料金:無料(当日の鑑賞者に限り)

■ お申し込み・お問い合わせ
県立能楽堂 TEL.076-264-2598



会場のご案内

金沢駅兼六園口(東口)6番のりば 兼六園シャトルバス
県立美術館・成巽閣バス停より徒歩1分/7番のりば 北
鉄バス 出羽町バス停より徒歩3分

※駐車場は数に限りがございますので、できるだけ公共交通
機関をご利用ください。